

2025年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
3818101	キャリアデザインV Internship	杉浦菜穂子、山田麻由			1	選択	1前期

科目の概要

様々な職場での体験学習を通して、業界の現状と職種の内容を把握する。事前指導では、インターンシップのながれをとらえ、実習での心構えを学ぶ。また、一般的なマナーについて実践ができるように修得する。実習を通して、現場の状況を知り、自分自身の適性をはかり、進路の選択に役立てることを通して課題解決能力を高め、pisa型学力をつけていきます。事後指導では、実習内容を発表し、他の職場の実状についても知り、今後の就職活動へ繋げていく。将来、社会の中で活躍していくために要となる建学の四大精神と社会人基礎力を育成していく。インターンシップを通して、企業理念、取り組みを理解し、働くことの意味を理解し、学生自身のキャリア形成の一助になるようにする。これはディプロマポリシーの②④⑤に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① インターンシップでのマナー、社会常識について学ぶ。 ② インターンシップを通して、業界の現状と仕事内容について学ぶ。 ③ 職場での実習で実務を経験する。 ④ インターンシップを振り返り、自分の適性をはかり、進路選択に繋げる。	① 社会人としての、規律、挨拶、お辞儀、敬語、服装を説明、修得できる。これはディプロマポリシーの①②に相当する。 ② インターンシップを通して仕事内容が理解し、業界の現状を深めることができる。これはディプロマポリシーの④⑤に相当する。 ③ インターンシップを通して、職種のあり方を知り、企業で求められることについて説明することができる。これはディプロマポリシーの④⑤に相当する。 ④ インターンシップを振り返り、自身の学びをわかりやすく伝え、今後の就活活動の方向性を説明することができる。これはディプロマポリシーの④⑤に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	実習前中後において自分の役割を積極的に果たす。
	働きかけ力	
	実行力	実習での目標を明確にし、粘り強く取り組み、目標を達成する。実習前中後で提出しないといけない書類を丁寧に仕上げ、提出することができる。
考え抜く力	課題発見力	実習を通して学んだ企業の現状と業界の現状を結びつけて考えることができる。
	計画力	
	創造力	実習で得た知識を利用し、今後の就職活動につなげることができる。
チームで働く力	発信力	実習前中後でのわからないことを積極的に質問紙し、指導者の話をよく聞いたうえで、自分の考えを提案する。
	傾聴力	実習中、指導者の話をしっかりと把握する。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。外部の組織・団体に迷惑をかけていないかどうかを含め、実習先のルールを守っていたかどうかを評価する。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。
参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「キャリアデザインI～IV」、「ビジネス実務演習」など
資格との関連：ビジネス実務士、上級秘書士(メディカル)

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

日頃から新聞やTVニュースで社会のながれや経済動向を把握しよう。学外の授業であるので、実習先に迷惑がかからないように積極的に取り組み、自己の進路選択に結びつけて行動すること。	日常生活において、良いコミュニケーションの取り方(話し方や態度)について考えておこう。実習中は遅刻、欠席は厳禁です。実習先へ迷惑のかからないように細心の気配りを行いましょう。実習期間中は、実習内容を詳しくメモをとり、帰宅後実習記録にしっかりまとめよう。
---	--

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
	レポート	30	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	60	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>1. 自分の活かせる場をみだし、積極的にインターンシップに参加できる。その後、積極的に自分にあった業界・企業を収集し、次の活動にむすびつけること、率先して連絡・報告・相談ができる。</p> <p>2. 自分の体験したインターンシップを他者に、わかりやすく説明できる。</p> <p>3. インターンシップでの経験を活かして、活動を継続できる。</p> <p>秀は1. 2. 3. ができている。優は1. 2. ができている。</p>	<p>良の到達レベル</p> <p>1. 教員のアドバイスのもと、インターンシップでの目標をみだし、参加できる。連絡・報告・相談ができる。</p> <p>2. 自分体験したインターンシップを他者に、説明できる。</p> <p>可の到達レベル</p> <p>1. 教員のアドバイスがあって、インターンシップに参加し、連絡、報告ができた。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	インターンシップとはインターンシップ実習の必要性。昨年の学生が行ったインターンシップ先の説明。業種と職種について知る	講義と質疑応答 インターンシップの内容説明、ガイダンス パソコンを使用し、様々な業界と職種について調べる。	インターンシップ実習の内容を理解することができる。	(予習) シラバスを読み、授業内容について理解する。 (復習) インターンシップ実習の内容を確認する。	90	主体性 傾聴力 規律性
2	業界研究 PP作成	講義と演習 業界研究の仕方について講義 パソコンを使用し、様々な業界と職種について調べ、PPを作成する。	自身が選択した業界についてまとめ、PPを作成することができる。	(予習) 様々な業界について研究し、自身が特に深く調べたい業界を決定する。 (復習) 業界研究のPPをまとめ、発表できるよう準備をしてくる。	90	主体性 実行力 創造力
3	業界研究 発表①	講義と発表 パソコンを使用し、作成した業界研究のまとめを発表する。	パソコンを使用し、作成した業界研究のまとめを発表することができる。	(予習) 業界研究のPPをまとめ、発表できるよう準備をしてくる。 (復習) 他者の業界研究の発表を聞いた感想をまとめる。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
4	業界研究 発表②	講義と発表 パソコンを使用し、作成した業界研究のまとめを発表する。 他者の業界研究の発表を聞き、多様な業種についてまとめインターンシップ実習先を検討する。	他者の業界研究についての発表を聞き、多様な業種をまとめ、レポートを作成することができる。	(予習) 業界研究のPPをまとめ、発表できるよう準備をしてくる。 (復習) 他者の業界研究の発表を聞いた感想をまとめる。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
5	インターンシップ実習体験者からの経験談 前回の振り返り、業種と職種。インターンシップと関連付けて、自身を考えてみる(大学での学び、将来の夢)	講義と演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) インターンシップ体験者からの経験談を聞く	インターンシップ実習の目的がわかり、実習の流れを捉えることができる。	(予習) 前回の振り返り、職種についてのレポートをまとめる。 (復習) インターンシップ実習体験者の体験談を聞き、実習内容についてレポートにまとめる。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
6	インターンシップ実習先の検討 パソコンを使用し、インターンシップ先を調べる。誓約書の作成、志望動機の下書き。	講義と演習 書類作成を含む(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) インターンシップ先の検討 誓約書の作成、志望動機の下書き	必要書類の下書きができる。	(予習) 昨年度のインターンシップ実習先企業について調べる。 (復習) インターンシップの目的を振り返る。志望動機下書きの完成。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
7	インターンシップ実習先の決定 パソコンを使用し、インターンシップ実習先について調べる。 誓約書の作成、志望動機の下書き。 自己申告書用写真撮影について	講義と演習 書類作成を含む(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) インターンシップ先の決定 誓約書の作成、志望動機の下書き完成。自己申告書用写真撮影についての説明。	必要書類の作成ができる。	(予習) 誓約書、志望動機の下書き。 (復習) 自己申告書の下書きの完成。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
8	志望動機の清書、自己申告書の作成①	講義と演習 書類作成を含む(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) 志望動機の清書、自己申告書の作成	志望動機を完成し、清書することができる。	(予習) インターンシップ実習先への交通手段、所用時間を調べる。 (復習) 志望動機の完成。自己申告書用の写真を撮影して来る。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	自己申告書の作成②	講義と演習 書類作成を含む(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) 自己申告書の作成	自己申告書に写真を貼り、完成させる。	(予習) 自己申告書用の写真を撮影して くる。 (復習) 自己申告書の完成。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
10	事前訪問について 事前訪問の予約を取る。電話のかけ方の演習。 インターンシップでの身だしなみ・挨拶の仕方。	講義と演習 事前訪問の予約を取る。企業への電話のかけ方を学ぶ。 インターンシップでの身だしなみ・挨拶の仕方について学ぶ。	電話を企業にかけ、事前訪問の予約と取ることができる。	(予習) 実習にあたっての心構えを読む。 (復習) インターンシップの目的を振り返る。言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞いの練習。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
11	インターンシップの際のマナー(挨拶、コミュニケーションの取り方、資料の渡し方、インターンシップ先での電話の取り方)初めてあった企業の方への自己紹介の仕方。お礼状の書き方。	講義と演習 (復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) 企業訪問・インターンシップでの身だしなみ・挨拶の仕方について学ぶ。初めてあった企業の方への自己紹介の仕方を学ぶ。お礼状の書き方について学ぶ。	インターンシップの際に適した身だしなみについて説明できる。お礼状の書き方を説明することができる。	(予習) 実習にあたっての心構え(お礼状の書き方)を読む。 (復習) インターンシップの目的を振り返る言葉遣い、挨拶の仕方、立ち振る舞いの練習。自己紹介文のまとめ。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
12	インターンシップ実習のまとめ① インターンシップ実習を振り返り、まとめを行う。	講義と演習 インターンシップ実習を振り返り、まとめを行う。 パソコンを使用し、実習についてまとめたPPを作成する。	インターンシップ実習の振りかえりレポートを作成することができる。	(予習) インターンシップ実習ファイルのまとめ。 (復習) 実習についてまとめたPPの作成。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
13	インターンシップ実習のまとめ②(オンデマンド) インターンシップ実習についてまとめたPPを作成し、発表の準備をする。	パソコンを使用し、インターンシップ実習についてまとめたPPを完成させる。発表のための原稿を作成する。	インターンシップ実習についてまとめたPPを作成し、発表原稿を作成することができる。	(予習) インターンシップ実習ファイルをまとめ、PPを作成する。 (復習) インターンシップ実習をまとめたPPを作成し、発表の準備をしていく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
14	まとめ 実習報告会①	プレゼンテーション演習(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) パソコンを使用し、インターンシップ実習についてまとめたPPを使用し、プレゼンテーションする。	インターンシップを振り返り、それを述べる ことができる。	(予習) 実習記録から自身の経験を振り返る。お礼状の下書き。 (復習) お礼状を書き、発送する。(必ず点検を受ける。)	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力
15	まとめ 実習報告会②	プレゼンテーション演習(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする) パソコンを使用し、インターンシップ実習についてまとめたPPを使用し、プレゼンテーションする。	インターンシップを振り返り、それを述べる ことができる。他者の発表から自身のインターンシップ実習を振り返り、今後の就職活動をどのように実践していけばよいかレポートにまとめることができる。	(予習) 他者の発表を聞き、自身のインターンシップ実習を振り返る。まとめレポートの作成。 (復習) 他者の学生の体験、自分の体験から今後の就活につなげられるよう就活計画表を作成する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力